

家畜衛生だより 令和3年3月号

紀北家畜保健衛生所 電話 073-462-0500
紀南家畜保健衛生所 電話 0739-47-0974
紀南家畜保健衛生所 東牟婁支所 電話 0735-58-1481

鶏舎で用いる消毒薬

鶏を伝染病から守るには日常の消毒が欠かせません。しかし、消毒は各消毒薬の特徴を理解した上で用いないと効果が得られません。また、飼養衛生管理基準では、日常的に鶏舎で行う消毒として「手指の消毒」「衣服、靴の消毒」「車両の消毒」などが義務付けられています。ここでは、代表的な消毒薬の特徴と日常的に鶏舎で行う各消毒方法、消毒薬を扱う際の注意点を解説します。

○鶏舎でよく用いられる消毒薬とその特徴

消毒薬	特 徴
逆性石けん	刺激性、腐食性が弱い⇒車両や鶏舎に噴霧しても錆びにくい。一部は発泡消毒に使用。アルカリ性の条件で使用。
オルソ剤	コクシジウムに有効。日光により効力低下。
ヨード剤 塩素剤	殺菌力が強い。 高温、有機物、日光により効力低下⇒糞などが付着していると効力が低下。 刺激性、腐食性が強い⇒器具や車両が腐食しやすい。
石灰	生石灰、消石灰（石灰乳：石灰 1kg 以上を 10 リットルの水に混合） 水と混ぜることで消毒効果を発揮する。 有機物に強い⇒踏込消毒、土壌にも適する。 生石灰と水を混ぜると高温になる。

◎「手指の消毒」「衣服、靴の消毒」「車両の消毒」の方法

○「手指の消毒」：手を洗った後に消毒液で消毒します。アルコール、塩素系、逆性石けんなどが主に用いられます。薬局などで多数の商品が市販されています。

○「衣服の消毒」：鶏舎専用の衣服は毎日洗濯しましょう。鶏舎専用服にはツナギなど通常の衣服の上から着用できるものが便利です。ナイロンやポリエステルなどのヤッケ素材のツナギも速乾性があり便利です。消毒薬には逆性石けんなどが主に用いられます。

○「長靴の消毒」：汚れを落とした後、踏込消毒槽などで消毒します。踏込消毒槽には逆性石けん液や石灰乳などが主に用いられます。

○車両の消毒：タイヤや泥除けは動力噴霧器を用いて、泥や汚れを落とすと同時に消毒を行うのが効果的です。逆性石けんなどが主に用いられます。

◎消毒薬を取り扱う際の注意点

○適切な濃度：希釈して消毒薬を作る場合は、計量カップできちんと計量してください。正しい濃度で用いないと、消毒薬の効果が十分に得られません。

○汚れを落として消毒：消毒薬は汚れを落してから用いてください。泥や糞などの有機物がついていると消毒薬の効果は低下します。

◎事故の防止（緊急時の対応）

○誤って飲み込んだ：直ちに吐く！牛乳などを飲み何回も吐く。すぐに病院へ！

○目に入ったら：こすらずに、すぐに洗面器に水をためて、顔をつけ何回かパチパチ瞬きしてください。すぐに、眼科を受診！

○原液や濃厚液が皮膚についたら：すぐに水洗し、自家治療せずに、悪化したら皮膚科を受診！

○オルソ剤は火気注意！

○消毒薬の混合使用はしない：混合すると危険な消毒薬もあります。

以上に注意して、消毒薬を適正に使用してください。

また、具体的な消毒方法などで不明な点は、各家畜保健衛生所にお問い合わせください。

